

例年になく早い梅雨明けとなり、今後もかなりの高温が続くことが予想されます。高温による農作物等への被害を軽減するため、次の技術対策を行ってください。

今後の気象情報に留意し、農作物生育ステージに合わせた適切な管理に努めましょう。

水稻早期栽培

- 1 過剰分けつ抑制のため、早期コシヒカリは1株茎数20本を確保できたら、早急に中干しをする。

園芸作物共通

- 1 大型ハウスは屋根やカーテンに遮光資材を展張するほか、細霧冷房や換気扇の利用、側面・妻面開放等により、施設内の温度上昇の抑制及び通風改善を図る。
- 2 雨除けハウス等簡易施設は、寒冷紗や不織布で遮光し、葉焼けなどの高温障害を防止する。
- 3 かん水は、立地条件や品目、生育状態等を十分考慮し、早朝又は夕方に実施する。
- 4 ハダニ類・アザミウマ類等、高温条件下で発生しやすい病害虫の早期発見に努め、的確な防除を行う。

果樹

- 1 収穫期を迎えた果実は、過熟にならないよう適期収穫に努める。
- 2 果実の収穫は早朝涼しいうちに行い、果実の温度上昇を防止する。

切花

- 1 朝・夕の気温の低い時間に採花し、常温で長時間放置しない。
- 2 エチレンによる劣化を防ぐため、前処理剤を使用し品質の維持に努める。

茶

- 1 チャノキイロアザミウマ類等、高温条件下で発生しやすい病害虫の早期発見に努め、的確な防除を行う。

畜産

- 1 畜舎は屋根・壁面に遮光・遮熱資材の塗布・展張するとともに、屋根散水や換気扇を利用し、施設内の温度上昇の抑制及び通風改善を図る。
- 2 畜体への送風や散水・散霧により、家畜の体感温度低下に努める。

日中等高温時の農作業は避け、作業中はこまかな水分補給と休憩に心がけましょう。

詳しくは、川越農林振興センター農業支援部に御相談ください。

農作業中の熱中症にご注意ください！

- 暑さに体が慣れていない梅雨明け直後に、農作業中の熱中症事故が多発しています。
- 暑さの感じ方は人により異なります。
高年齢の方は特に注意が必要です。



体温を下げるための体の反応が弱くなっており、自覚がないのに熱中症になる危険があります。

のどの渴きを感じにくい

汗をかきにくい



暑さを感じにくい

～熱中症予防のポイント～

通気性の良い服装と帽子



冷却グッズの活用※

(例)濡れタオル、保冷剤をくるんだタオル等

こまめな水分・塩分補給



無理をせず、適度な休憩をとりましょう

ハウスや畜舎の換気



短時間の作業でも、側窓や天窗を開放して風通しを良くしましょう

周りの人にも気配りを



1人作業の時は、必ず家族に作業場所と帰宅時刻を伝えましょう

※タオルを首に巻いて機械作業を行う際は、作業機の回転部分に巻き込まれないよう、タオルの端を服の中へ入れ込むなどの対策をしましょう。